

ウチヌキ

福島工場にロール成形機導入

175ミリの幅の有孔折板専用ライン

パンチングメタルメーカー、ウチヌキ（本社・神奈川県綾瀬市、村）に175ミリの幅の有孔折板の専用ラインと



175ミリ幅専用の有孔折板ロール成形機

幅に向上。また、より長尺サイズへの対応とともにリードタイムも大幅に短縮できる。パンチング加工から切断、フォーミング加工までの一貫生産ラインを構築した。

有孔折板は主に建材用途として使われるパンチング製品。建築意匠のデザイン性や目隠し効果のほか、防音や防雪などの用途で道路などの土木建材としてさまざまな用途で使われている。

同社では250ミリ幅と200ミリ幅の有孔折板はロールフォーミングによる一貫生産ラインはあったものの、175ミリ幅はベンダーによる加工だった。生産性の向上とコスト競争力を高めるため、今回175ミリ幅専用のフォーミングラインを新たに導入。付帯設備には自動積載システムを搭載したスタンド台も設置し、作業性の効率も図った。

中尾社長は「ベンダー加工に比べて生産性が格段に向上した。また4倍を超える長尺サイズは外注していたが、パンチングからフォーミングまでを内製化することで、リードタイムも以前に比べて大幅に短縮できる」としている。